

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-122	小学校	道徳	道徳	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 604	小学道徳 6 はばたこう明日へ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」の達成を旨とし、以下の方針に基づいて編修しました。

次の時代を切り開いていく資質・能力を身に付ける教科書

これからの時代を生きていく児童たちにとっては、自分とは異なるさまざまな価値観や言語、文化を背景とする人たちと相互に尊重し合うことが、今まで以上に重要となります。本教科書では、地域・学校や児童の実態に応じて、こうした資質・能力を身に付けることができるように教科書の構成や教材内容、学習方法の提示を工夫しています。教科書を活用して学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしています。

本教科書では、児童が他者とのコミュニケーションを通して、自分の言葉で表現する力をつけるとともに、自分と異なる意見にも接して、他者と相互に理解し合うことの重要性を確認することができます。また、他者とともに学習するなかでより深く考え、児童一人一人が自分を成長させることができます。このような学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにします。

人生を変えるのは自分

「なんでも、美しいのだから！」

あるアメリカのスポーツ雑誌の表紙に、秦由加子選手の姿が写っていた。そこには、また上げられた腕章も、自分にあふれた表情の女性アスリートがいた。しかも、そのアスリートは競泳用の泳衣を着て写真に写っていたのだ。

秦由加子選手は、十三歳のときにわざわざ海外へ移住した。すねの骨が少し曲がって、正座をするときもつらい。競泳で四度選手権を奪取したところ、骨内蔵であることがわかった。治療の方法は、いかに早く、秦さんは速く手術を受けること。両親はこれ以上心配をかけたくないから、秦さんの入国後、両親はともにも泳ぎを止めた。右足を切斷しない方法を探したが、もう再発してしまおうと諦めることになった。これですべて心配をかけたのだから……。

秦さんは熱気あふ、自分の骨が直ることをかたくしていた。それが人の眼で見るとどう向かうのか。自分の足が直らされていらない。そこには、脚りの人と同じようにふるまいたくはない。他人の目を気にしている自分の姿があった。小さいころから水泳を習っていた秦さんだったが、病気のあとではスプリントから遠ざかる毎日を送った。

二十四歳のとき、秦さんは東京都港区のスポーツクラブにいき、久しぶりに泳ぐことの楽しさを味わった。しばらくして、コートからパラトライアスロンをやってみようかとすめられた。このコートとの出会いが、秦さんの人生を変えることになった。

パラトライアスロン（水泳・自転車・バイク）の三つをこなす。アスリートとして、秦さんはなかなか答えを出せずにいた。周りをみると、スポーツクラブの仲間にはみんな明るく前向きにスポーツに取り組んでいる。

「せっかく障がい者のだから、パラリンピックを目指してがんばらなう。」

いつしか秦さんも前向きな考え方を身につけていった。

「一月後、秦さんは初めて競泳用の泳衣を着て写った。周りははたして、泳いで……」

1 人生を変えるのは自分

2 志を立てる

秦由加子選手の挑戦

松下手之助

くじけずに努力する

1 人生を変えるのは自分

2 志を立てる

秦由加子選手の挑戦

松下手之助



秦由加子選手

▲6年 1 人生を変えるのは自分 (pp.6-7)

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康的な身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
六年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ	六年生の道徳の学習に向けての心構えをもつことで、これからの学習で豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.2-3 pp.4-5
くじけずに努力する 1 人生を変えるのは自分 (秦由加子)	・パラトライアスロンで活躍する秦由加子氏の心の変遷を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.6-9
2 志を立てる (松下幸之助)	・松下幸之助の一生から、創造性を培い勤労を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.10-15
相手の立場に立って 3 父の言葉	相手の気持ちを考えた行動を学ぶことで、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.16-19
豊かな人間関係をつくる 4 絵地図の思い出	・男子と女子が協力して絵地図作りをおこなう題材を通して、自他の敬愛と協力を重んずる心を培えるようにしました。〈第3号〉	pp.20-24
5 友達だからこそ	・友達に言われても、勇気を出してずるいことはしなかった姿を通して、正義と責任を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.25-29
誠実に明るい心で 6 手品師	自分の夢よりも男の子との約束を選んだ手品師の姿から、責任をもって誠実に生きることの大切さを学べるようにしました。〈第3号〉	pp.30-33
社会に役立つことを 7 青い海を取りもどせ	東日本大震災でがれきが散乱した海底をみんなで協力して元に戻すという題材から、自然環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.34-37
節度・節制を心がけて 8 食事中的メール	・家族そろっての食事中にメールのやりとりをする題材を通して、節度ある情報機器の使い方を考え、道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.38-41
9 安全について考えよう (スキル)	・地震についての家族会議の場面から、緊急時にも公共の精神に基づき、みんなで協力して対応することの大切さを学べるようにしました。〈第3号〉	pp.42-45
短所を改め長所をのびす 10 山中伸弥先生の快挙 (山中伸弥)	目標に向かって一歩ずつ努力を積み重ねた山中伸弥氏の姿から、個人の能力を伸ばし勤労を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.46-49
集団の中で役割を果たす 11 応援団の旗	運動会での応援団の旗作りの題材から、主体的に集団に参加し、その中で自分の責任を積極的に果たそうとする態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.50-53
広い心をもって 12 ブランコ乗りとピエロ	サーカスでの二人のスターの対立に焦点を当て、意見の異なる人とも気持ちよく付き合うには、謙虚で寛大な心を持ち、自分とともに相手を尊重していくことが重要であることを学べるようにしました。〈第3号〉	pp.54-59

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
国や郷土を愛する 13 祖国にオリンピックを (和田勇) 14 米百俵 (小林虎三郎)	<ul style="list-style-type: none"> 1964年東京オリンピック招致に尽力したフレッド和田勇を題材に、我が国と郷土を愛し国際平和に寄与する態度を養えるようにしました。〈第5号〉 米百俵の題材を通して、先人の教えを尊び郷土愛を養えるようにしました。〈第5号〉 	pp.60-64 pp.65-69
よりよく生きる ○よりよい社会の実現へ 15 日本を守るために (勝海舟, 西郷隆盛) 16 六千人の命のビザ (杉原千畝)	<ul style="list-style-type: none"> 日本を守るために無益な戦いを避けた江戸城無血開城を題材に、反対意見の中で勇気をもって信念を通した先人に学ばせるようにしました。〈第5号〉 国のルールよりも人命優先の信念を貫いた杉原千畝の姿から真理を求め道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 	p.70 pp.71-73 pp.74-79
正義の実現のために 17 ひきょうだよ ○学級人権標語をつくろう	学級でのいじめをやめさせるにはどうすべきかについて考えさせることで、正義の実現のために、勇気を出して主体的に関わろうとする態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.80-83 pp.84-85
かけがえのない命を尊重する 18 その思いを受けついで 19 生かされている「大切な命」 (石上智康) ○いのちのバトン	<ul style="list-style-type: none"> 祖父の死に直面した主人公の姿を通して、かけがえのない生命が、世代をこえて思いとともに受けつがれていることについて学べるようにしました。〈第4号〉 石上智康氏の詩「生かされている」を題材に、生命は過去から現在に受け継がれてきたかけがえのないものであり、自分が大いなる自然の中で生かされていることに思いをはせ感謝することができるようにしました。〈第4号〉 	pp.86-91 pp.92-95 pp.96-97
美しさや気高さを感じて 20 百一才の富士 (奥村土牛)	気高く気品のある富士に魅せられ、百歳を過ぎてもその姿を描いた奥村土牛の画家としての姿勢を通して、自然の偉大さや崇高なものへの畏敬の念を育むことができました。〈第4号〉	pp.98-101
21 礼儀作法と茶道	小学校の茶道体験教室を通して、礼儀正しく真心をこめて接することは相手を尊重することにつながることを理解し、相手の立場に立ったおもてなしの心を育めるようにしました。〈第3号〉	pp.102-105
自然環境を大切に 22 フラスコで育てた花	絶滅危惧種に指定された花の栽培を題材にして、自然環境と人間とのかかわりや、自然をどのように守り未来へつなげていくのかについて考えさせるようにしました。〈第4号〉	pp.106-109
家族の幸せのために 23 志を得ざれば、再びこの地を踏まず (野口英世)	野口英世と母シカの物語を通して、大切な家族の幸せのために自分は何ができるのかを考え、積極的に役に立てるような態度を身につけられるようにしました。〈第3号〉	pp.110-115
自分の行動に責任をもって 24 うばわれた自由 25 卒業に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 勝手なふるまいで牢屋に入れられた王を題材に、本当の自由とは責任が伴うことを学び、自主・自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉 小学校の最終学年として周囲への感謝の気持ちを表し、道徳心を養えるようにしました。〈第1号〉 	pp.116-119 pp.120-121
26 情報について考えよう (スキル)	インターネットの掲示板に友達の写真を載せたことで先生に呼ばれた話を題材に、情報モラルの問題について正しい知識を身につけられるようにしました。〈第1号〉	pp.122-125
支え合いや助け合いに感謝 27 ひたすらに、自分の心に従って (棟方志功)	自分を支えてくれた人のことを思うことで芸術家として一步を踏み出せた棟方志功の生涯を題材に、家族や周囲の人への感謝の気持ちをもち、それにこたえて自分は何をすべきかを考え、実践する態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.126-131

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
すすんで国際親善に努める 28 究極の理想「平和」を求めて (新渡戸稲造) 29 ベトナムの人に、安全な水を	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の心を世界に紹介する本『武士道』を英語で著し、世界で活躍した新渡戸稲造を題材に、日本人としての自覚をもって国際親善と平和に努める態度を養えるようにしました。〈第5号〉 横浜市水道局がベトナムの水道環境をよくした話をとおして、多様な国の文化を尊重し、国際理解と親善の心を培うことができるようにしました。〈第5号〉 	pp.132-135 pp.136-139
真理を探究する 30 天から送られた手紙 (中谷宇吉郎)	雪や雷の研究で有名な世界的科学者、中谷宇吉郎の人工雪誕生の話を中心に、進んで新しいものを取り入れ、様々な工夫して真理を追い求める態度を養うことができました。〈第1号〉	pp.140-143
くじけずに努力する 31 東の羽生、西の村山 (村山聖)	将棋の名人をみざすも病気のため29歳で亡くなった村山九段の姿から、自己の能力を伸ばし、くじけずに努力する態度を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.144-147
くじけずに努力する 32 世の中のためになることをしたい (石橋正二郎)	地下足袋、ゴム靴、そして自動車のタイヤを開発した石橋正二郎を題材に、創意工夫で人の役に立とうとする心構えを学べるようにしました。〈第2号〉	pp.148-152
短所を改め長所をのびす 33 「しかみ像」にこめられた思い	徳川家康が描かせた「しかみ像」の話を題材に、自分の悪い点を直視し改めることで成長するのだということを学ばせるようにしました。〈第2号〉	pp.153-155
国や郷土を愛する 34 西陣織を受けつぐ	京都の西陣織の歴史を題材に、伝統を守ってきた先人の努力を知り、自分もそれを継承する責務があるという自覚を持たせるようにしました。〈第5号〉	pp.156-159
国や郷土を愛する 35 北海道の名づけ親 (松浦武四郎)	アイヌの伝統を理解しそれを守る活動を明治時代に行った松浦武四郎を題材に、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.160-163
学びの記録 一年間の道徳の学習をふり返ろう	一年間の道徳の学習を振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.164-166 p.167

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

ユニバーサルデザイン (UD) による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応

色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字 (ユニバーサルデザインフォント) などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品 (障がい者アート) を教科書に掲載することにより「パラリンアート」の活動支援にも取り組んでいます。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-122	小学校	道徳	道徳	第6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 604	小学道徳6 はばたこう明日へ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

○学びやすい

内容項目との関連が明確になっていますので、先生も児童も教材の主題を意識して授業に臨むことができます。

○多様性の重視

さまざまな考え方をもちた児童の立場を考慮して、多面的・多角的に考えられる教材を数多く用意しました。自分の考えを述べて、友達の考えを聞いて、みんなで話し合う充実した道徳の授業を行うことができます。

○楽しく学べる紙面

楽しく円滑な授業が行えるように、見開きに1点はイラストや写真を用いています。イラストは教材の特徴に合わせて、児童が教材の内容をイメージしやすいよう配慮して作成しています。



▲6年 21 礼儀作法と茶道 (pp.102-103)

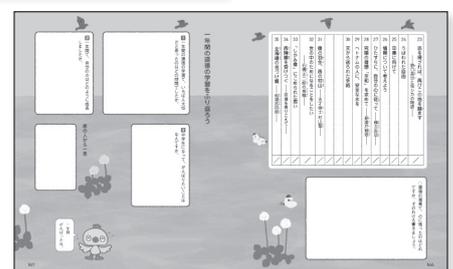
教科書の全体構成

○道徳開きと振り返り

巻頭には道徳開きのページを4ページ設けました。一年間の道徳授業の最初に、現在の自分を知ることから始めます。いちばん大切なことを考えることから一年間の道徳の授業が始まります。次のページでは、道徳の授業でどのような学習をするのかを確認し、授業のイメージができるようにします。また、巻末には振り返りのページを設けました。一年間の道徳の学習でいちばん大切だと



◀6年 六年生の道徳の学習が始まるよ (pp.2-3)



6年 学びの記録▶
一年間の道徳の学習をふり返ろう (pp.166-167)

思ったことを記入することで、心の成長をみとることができます。そして中学校に進学したときになりたい自分を想定して、中学校へと道徳の学習をつないでいきます。

○教材

教材は内容項目ごとにまとめて掲載しています。学年のはじめは自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階を考慮した配列にしてあります。また、小学校の年間行事（運動会、遠足、発表会など）と関連させて指導ができるよう配置してあります。

多様で体験的な学習ができるようにモラルスキルトレーニングを各所に取り入れました。また、読み物教材にも役割演技を取り入れるなど教材内容に工夫を施しました。



▲6年 12 プランコ乗りとピエロ (pp.58-59)

○導入（学習のねらい）の明確化

教材ごとにキャラクター（とりどり先生）による導入（主題への誘い）を設けました。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、どんなことを考えるのかを意識できるようにした気づきの発問です。



▲6年 ○よりよい社会の実現へ (p.70)



▲6年 15 日本を守るために (p.71)

○学びの手引き

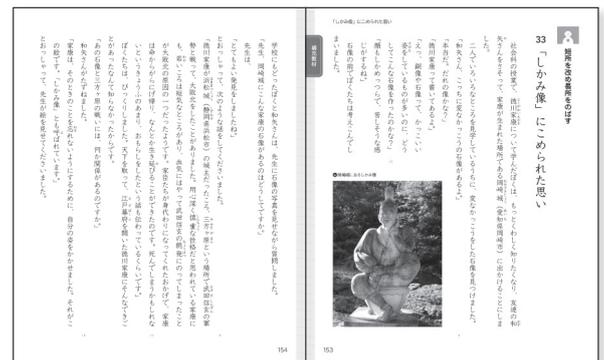
授業の学びの流れを可視化した発問を教材ごとに設けました。教材本文をもとにして考え議論する問いとしての「考えよう」から、道徳的価値そのものへの問い、価値理解を深めることができる設問としての「深めよう」、今後の行動や他教科と連携した発展的な学習につなげる「つなげよう」で構成しています。また、役割演技をすることによって道徳的価値の理解をより深めることを目指す「やってみよう」は「考えよう」の一項目として設け、児童が考えるヒントとなるキャラクターの発言なども記載しました。手引きの発問は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成してあります。



▲6年 3 父の言葉 (pp.18-19)

○補充教材

それぞれの道徳的な価値の理解をより深めるための補充教材を巻末に5本用意しました。学校や地域の実態を考慮して、弾力的に活用することができます。



▲6年 33 「しかみ像」にこめられた思い (pp.153-154)

題材の特色 6年

○道徳の授業で繰り返し指導されてきた教材

長く教育現場で指導され、親しまれてきた教材（定番教材）を厳選して掲載しています。



この他の定番教材

- 3 父の言葉 (pp.16-19)
- 4 絵地図の思い出 (pp.20-24)
- 12 ブランコ乗りとピエロ (pp.54-59)
- 18 その思いを受けついで (pp.86-91)
- いのちのバトン (pp.96-97)
- 24 うばわれた自由 (pp.116-119)
- 30 天から送られた手紙 (pp.140-143)

◀6年 6 手品師 (pp.30-31)

定番教材以外にも、良質な自作教材を多数掲載しています。

○現代的な課題などに対応する多様な教材

現代的な課題に対応するための教材として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点に特に重きをおき、該当する教材には目次と教材にマークをつけてわかりやすく示しました。

また、教科書全体を通して、多様な教材を掲載しています。

• 生命の尊厳

- 18 その思いを受けついで (pp.86-91)
- 19 生かされている「大切な命」 (pp.92-95) ○いのちのバトン (pp.96-97)

• 自然

- 22 フラスコで育てた花 (pp.106-109)

• 伝統と文化

- 13 祖国にオリンピックを (pp.60-64)
- 14 米百俵 (pp.65-69)
- 34 西陣織を受けつぐ (pp.156-159)
- 35 北海道の名づけ親 (pp.160-163)

• 先人の伝記・スポーツ

- 1 人生を変えるのは自分 (pp. 6-9)
- 2 志を立てる (pp.10-15)
- 13 祖国にオリンピックを (pp.60-64)
- 16 六千人の命のビザ (pp.74-79)
- 20 百一才の富士 (pp.98-101)
- 27 ひたすらに、自分の心に従って (pp.126-131)
- 28 究極の理想「平和」を求めて (pp.132-135)
- 31 東の羽生、西の村山 (pp.144-147)
- 32 世の中のためになることをしたい (pp.148-152)
- 35 北海道の名づけ親 (pp.160-163)

• 情報化への対応

- 8 食事中的メール (pp.38-41)
- 26 情報について考えよう (pp.122-125)

○体験的な学習のできる教材



他にも体験的な学習ができる教材を多数掲載しました。

- 3 父の言葉 (pp.16-19)
- 7 青い海を取りもどせ (pp.34-37)
- 21 礼儀作法と茶道 (pp.102-105)
- 25 卒業に向けて (pp.120-121)
- 26 情報について考えよう (pp.122-125)

▲6年 9 安全について考えよう (pp.42-43)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
六年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ	全般	pp.2-3 pp.4-5	—
くじけずに努力する 1 人生を変えるのは自分（秦由加子） 2 志を立てる（松下幸之助）	A [希望と勇気, 努力と強い意志] より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	pp.6-9 pp.10-15	2
相手の立場に立って 3 父の言葉	B [親切, 思いやり] 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	pp.16-19	1
豊かな人間関係をつくる 4 絵地図の思い出 5 友達だからこそ	B [友情, 信頼] 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	pp.20-24 pp.25-29	2
誠実に明るい心で 6 手品師	A [正直, 誠実] 誠実に、明るい心で生活すること。	pp.30-33	1
社会に役立つことを 7 青い海を取りもどせ	C [勤労, 公共の精神] 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。	pp.34-37	1
節度・節制を心がけて 8 食事中的メール 9 安全について考えよう（スキル）	A [節度, 節制] 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	pp.38-41 pp.42-45	2
短所を改め長所をのぼす 10 山中伸弥先生の快挙（山中伸弥）	A [個性の伸長] 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	pp.46-49	1
集団の中で役割を果たす 11 応援団の旗	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合っ てよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団 の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努 めること。	pp.50-53	1
広い心をもって 12 ブランコ乗りとピエロ	B [相互理解, 寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な 心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重 すること。	pp.54-59	1
国や郷土を愛する 13 祖国にオリンピックを（和田勇） 14 米百俵（小林虎三郎）	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力 を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.60-64 pp.65-69	2
よりよく生きる ○よりよい社会の実現へ 15 日本を守るために（勝海舟, 西郷隆盛） 16 六千人の命のビザ（杉原千畝）	D [よりよく生きる喜び] よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解 し、人間として生きる喜びを感じることに努めること。	p.70 pp.71-73 pp.74-79	2
正義の実現のために 17 ひきょうだよ ○学級人権標語をつくろう	C [公正, 公平, 社会正義] 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことな く、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める こと。	pp.80-83 pp.84-85	1
かけがえのない命を尊重する 18 その思いを受けついで 19 生かされている「大切な命」（石上智康） ○いのちのバトン	D [生命の尊さ] 生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえの ないものであることを理解し、生命を尊重すること。	pp.86-91 pp.92-95 pp.96-97	2
美しさや気高さを感じて 20 百一才の富士（奥村土牛）	D [感動, 畏敬の念] 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を 超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	pp.98-101	1

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
礼儀正しく真心をもって 21 礼儀作法と茶道	B [礼儀] 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。	pp.102-105	1
自然環境を大切に 22 フラスコで育てた花	D [自然愛護] 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	pp.106-109	1
家族の幸せのために 23 志を得ざれば、再びこの地を踏まず (野口英世)	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	pp.110-115	1
自分の行動に責任をもって 24 うばわれた自由 25 卒業に向けて	A [善悪の判断, 自律, 自由と責任] 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。	pp.116-119 pp.120-121	2
法やきまりを守って 26 情報について考えよう (スキル)	C [規則の尊重] 法やきまりの意義を理解した上でそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。	pp.122-125	1
支え合いや助け合いに感謝 27 ひたすらに、自分の心に従って (棟方志功)	B [感謝] 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。	pp.126-131	1
すすんで国際親善に努める 28 究極の理想「平和」を求めて (新渡戸稲造) 29 ベトナムの人に、安全な水を	C [国際理解, 国際親善] 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	pp.132-135 pp.136-139	2
真理を探究する 30 天から送られた手紙 (中谷宇吉郎)	A [真理の探究] 真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。	pp.140-143	1
くじけずに努力する 31 東の羽生、西の村山 (村山聖)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	pp.144-147	1
くじけずに努力する 32 世の中のためになることをしたい (石橋正二郎)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	pp.148-152	1
短所を改め長所をのばす 33 「しかみ像」にこめられた思い	A [個性の伸長] 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	pp.153-155	1
国や郷土を愛する 34 西陣織を受けつぐ	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.156-159	1
国や郷土を愛する 35 北海道の名づけ親 (松浦武四郎)	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.160-163	1
学びの記録 一年間の道徳の学習をふり返ろう	全般	pp.164-166 p.167	—
		計	35